

かきがわ

柿川

長岡空襲の夜、立ち込める炎から逃れようとたくさんの人々が柿川に飛び込み、
多くの人が亡くなりました。柿川をはじめ長岡空襲で亡くなった戦災殉難者の慰霊
を目的として、翌年(昭和21年)8月1日から信濃川で灯籠流しが始められました。

その後、環境汚染などの問題から一度は中断された灯籠流しですが、昭和59年
長岡市議会が県内初の「非核平和都市宣言」を可決したことに伴い、長岡青年会議
所の呼びかけと復活を望む多くの市民のご協力により、会場を柿川に移し現在に
至っております。



柿川戦災殉難地の石碑（柳原町）

ひらかた じんじゃ

平潟神社

長岡空襲で特に被害の大きかった場所のひとつが、大型の防空壕のあった
平潟神社でした。「防空壕の中にいれば安心だから」と、多くの長岡市民が平
潟神社の防空壕に集まり、亡くなりました。

平潟神社にある『長岡市戦災殉難者慰霊塔』は、その殉難者の霊を慰める
とともに、このような不幸を再び繰り返さないよう願いを込めて、一般市民か
らの寄金、及び県と市の補助金によって建設されたものです。



長岡市戦災殉難者慰霊塔